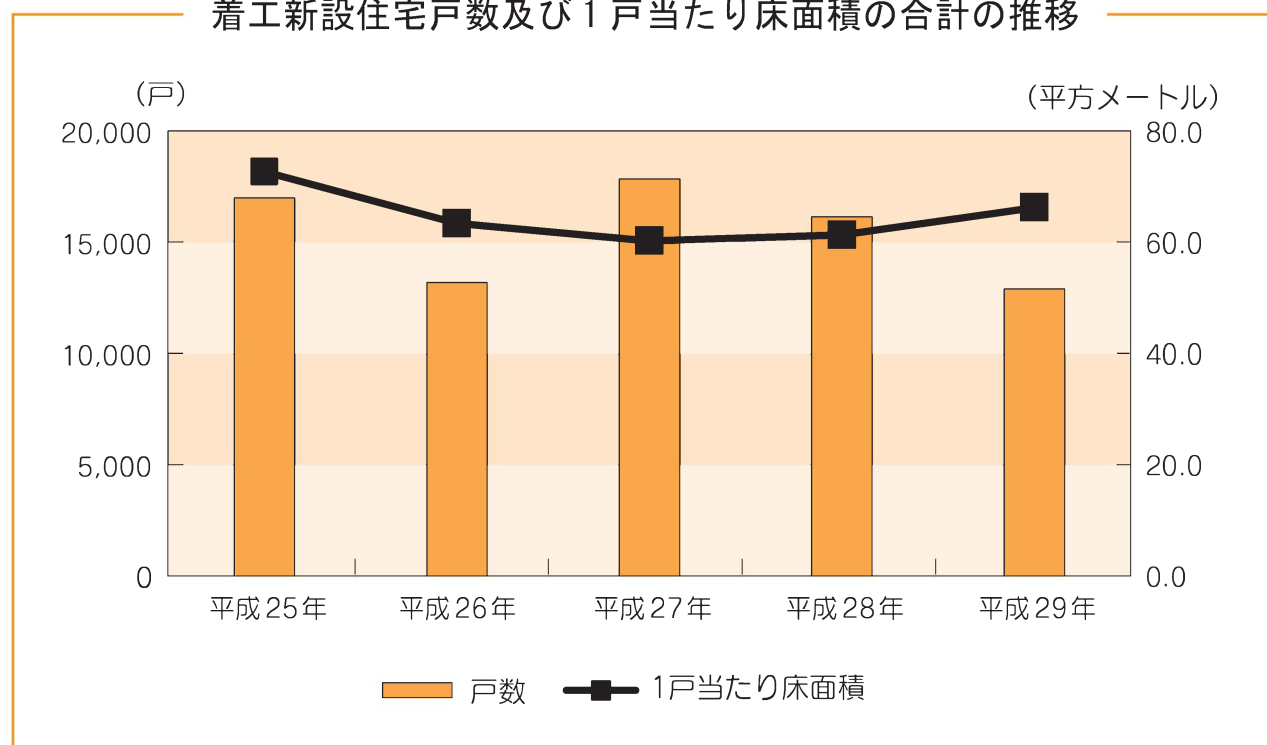


(単位：戸、平方メートル)

年 次	戸 数					床面積の合計	
	総 数	持 家	貸 家	給与住宅	分譲住宅	総 数	1戸当たり
平成25年	16,997	1,725	7,408	5	7,859	1,235,604	72.7
26年	13,194	1,305	6,950	29	4,910	836,766	63.4
27年	17,836	1,573	8,532	151	7,580	1,074,742	60.3
28年	16,137	1,503	7,993	-	6,641	989,766	61.3
29年	12,898	1,299	6,646	3	4,950	854,395	66.2

(建築動態統計調査)

着工新設住宅戸数及び1戸当たり床面積の合計の推移



データチェック

平成29年中の市内の着工新設住宅戸数は1万2,898戸で、前年と比べて3,239戸(20.1%)減少し、床面積の合計は85万4,395平方メートルで、13万5,371平方メートル(13.7%)減少しています。

1戸当たり床面積の合計は66.2平方メートルで、前年と比べて4.9平方メートル増加しています。

利用関係別に着工新設住宅戸数をみると、貸家が6,646戸(戸数総数の51.5%)で最も多く、次いで分譲住宅が4,950戸(同38.4%)、持家が1,299戸(同10.1%)の順となっています。給与住宅は前年の0戸から3戸に増えていますが、その他(持家、貸家及び分譲住宅)では大きく減少しています。

(単位：戸)(各年10月1日)

年 次	住 宅 数							
	総 数	居住世帯あり					居住世帯なし	
		総 数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他	総 数	空き家
昭和63年	427,910	388,360	122,580	10,860	252,570	2,360	39,550	31,350
平成 5年	496,900	443,600	125,400	9,400	305,800	3,000	53,300	44,800
10年	547,700	480,600	130,200	9,000	338,200	3,200	67,000	59,400
15年	602,180	536,520	143,000	9,200	382,300	2,000	65,660	62,000
20年	686,400	613,500	151,400	10,400	449,900	1,800	72,900	69,500
25年	753,700	671,400	167,600	8,700	494,000	1,100	82,200	78,500

(住宅・土地統計調査)

住宅数及び空き家数の推移



データチェック

平成25年住宅・土地統計調査結果をみると、市内の住宅総数は75万3,700戸で、このうち居住世帯のある住宅は67万1,400戸、居住世帯のない住宅は8万2,200戸となっています。前回(平成20年)と比べると、住宅総数は6万7,300戸(9.8%)、居住世帯のある住宅は5万7,900戸(9.4%)、居住世帯のない住宅は9,300戸(12.8%)それぞれ増加しています。

居住世帯のある住宅を建て方別にみると、共同住宅が49万4,000戸で73.6%を占めています。

居住世帯のない住宅のうち、空き家は7万8,500戸で、前回と比べて9,000戸(12.9%)増加しており、空き家率(住宅数に占める空き家の割合)は10.4%と、住宅の約1割が空き家であることが分かります。

種 別	執 行 年 月 日	投 票 者 数			投 票 率(%)		
		総 数	男	女	総 数	男	女
衆議院議員・小選挙区	平成21年 8月30日	751,762	383,930	367,832	66.77	66.08	67.50
衆議院議員・比例代表	平成21年 8月30日	751,724	383,895	367,829	66.76	66.07	67.50
市 長	平成21年10月25日	400,048	205,562	194,486	36.09	36.00	36.19
参議院議員・選挙区(*1)	平成21年10月25日	400,743	205,987	194,756	36.08	35.98	36.18
参議院議員・選挙区	平成22年 7月11日	627,080	322,061	305,019	55.49	55.33	55.66
参議院議員・比例代表	平成22年 7月11日	627,126	322,086	305,040	55.49	55.33	55.66
県 知 事	平成23年 4月10日	514,322	257,583	256,739	46.19	45.04	47.39
県議会議員	平成23年 4月10日	455,156	228,067	227,089	46.02	44.93	47.17
市議会議員	平成23年 4月10日	513,441	257,146	256,295	46.11	44.97	47.31
衆議院議員・小選挙区	平成24年12月16日	684,868	351,908	332,960	59.65	59.77	59.52
衆議院議員・比例代表	平成24年12月16日	684,939	351,977	332,962	59.66	59.78	59.52
参議院議員・選挙区	平成25年 7月21日	635,078	325,368	309,710	55.02	55.07	54.97
参議院議員・比例代表	平成25年 7月21日	635,047	325,351	309,696	55.02	55.06	54.97
市 長	平成25年10月27日	373,616	185,615	188,001	32.82	31.93	33.76
衆議院議員・小選挙区	平成26年12月14日	626,390	321,419	304,971	53.66	53.95	53.36
衆議院議員・比例代表	平成26年12月14日	626,336	321,397	304,939	53.66	53.95	53.35
県 知 事	平成27年 4月12日	481,103	239,575	241,528	41.84	40.92	42.79
県議会議員	平成27年 4月12日	358,132	178,627	179,505	42.33	41.39	43.30
市議会議員	平成27年 4月12日	480,617	239,333	241,284	41.98	41.07	42.92
参議院議員・選挙区	平成28年 7月10日	672,779	340,442	332,337	55.83	55.50	56.18
参議院議員・比例代表	平成28年 7月10日	672,677	340,395	332,282	55.83	55.49	56.17
衆議院議員・小選挙区	平成29年10月22日	633,090	321,287	311,803	51.72	51.65	51.80
衆議院議員・比例代表	平成29年10月22日	633,143	321,309	311,834	51.73	51.65	51.81
市 長	平成29年10月22日	630,616	319,902	310,714	52.30	52.25	52.35
市議会議員(*2)	平成29年10月22日	84,337	44,569	39,768	45.74	44.23	47.55

* 平成28年6月19日以降に執行された選挙は、選挙人に18歳及び19歳を含む数である。

(*1)神奈川県選出議員補欠選挙

(*2)川崎市議会議員、川崎区補欠選挙

市長選挙の投票状況(平成29年10月22日)

	当日有権者数	投票者数	投票率(%)
川崎市	1,205,842	630,616	52.30
川崎区	184,403	84,821	46.00
幸 区	134,582	70,585	52.45
中原区	202,923	109,782	54.10
高津区	184,245	92,929	50.44
宮前区	184,600	96,839	52.46
多摩区	172,642	91,736	53.14
麻生区	142,447	83,924	58.92

市議会議員選挙の投票状況(平成27年4月12日)

	当日有権者数	投票者数	投票率(%)
川崎市	1,144,853	480,617	41.98
川崎区	175,025	71,410	40.80
幸 区	127,012	53,941	42.47
中原区	191,343	84,604	44.22
高津区	175,478	68,620	39.10
宮前区	175,192	70,439	40.21
多摩区	164,481	70,598	42.92
麻生区	136,322	61,005	44.75

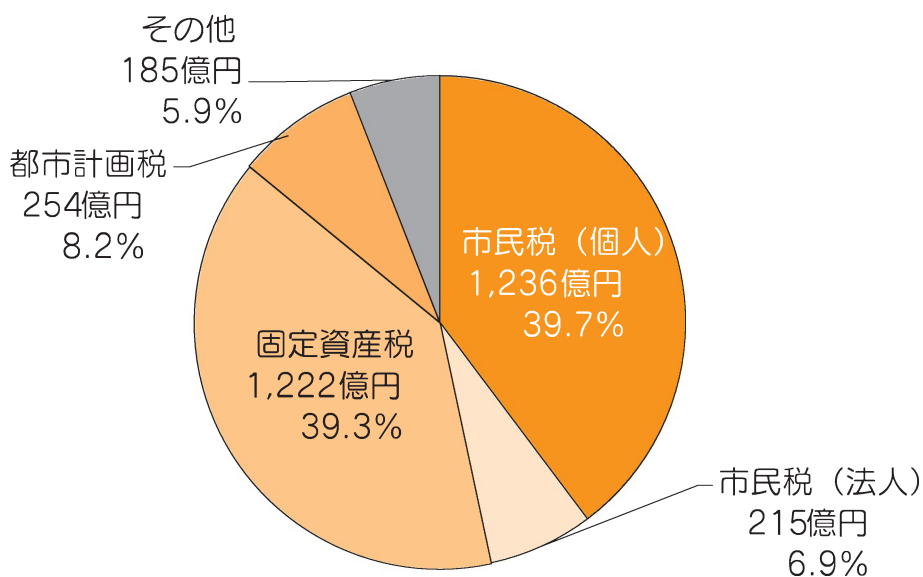
データチェック

平成21年以降の参議院議員選挙の投票率は55%台でほとんど変わらないのに対して、衆議院議員選挙の投票率は、低下傾向にあることが分かります。

(単位：千円)

税 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総 額	296,558,930	300,740,010	305,359,845	311,185,928
市民税	137,726,856	139,768,136	142,197,144	145,176,197
個人	116,024,414	119,161,222	121,661,436	123,636,270
法人	21,702,442	20,606,914	20,535,708	21,539,927
固定資産税	115,771,171	117,454,707	119,213,229	122,155,258
軽自動車税	577,150	594,631	762,121	790,123
市たばこ税	9,850,441	9,657,244	9,389,257	8,815,249
特別土地保有税	42,272	-	-	-
入湯税	581	578	492	4,330
事業所税	8,517,806	8,770,801	8,805,500	8,864,364
都市計画税	24,072,653	24,493,913	24,992,102	25,380,407

税目別市税収入（平成29年度）



データチェック

平成29年度の市税収入は3,111億8,593万円で前年度と比べて58億2,608万円(1.9%)増加し、5年連続の増収となりました。

税目別にみると、市民税が1,451億7,620万円（総額の46.7%）で最も多く、次いで固定資産税が1,221億5,526万円(同39.3%)となっており、市民税と固定資産税の2税で総額の85.9%を占めています。

市民税を前年度と比べると、個人市民税は19億7,483万円（1.6%）の増収、法人市民税は10億422万円(4.9%)の増収となりました。

(平成30年度第2回かわさき市民アンケート)

●●● 市政に対する要望トップ10 ●●●

項 目	%
防 犯 対 策	41.6
道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	35.6
高 齢 者 の た め の 施 策	34.8
道 路 ・ 歩 道 の 整 備	34.4
交 通 安 全 対 策	34.2
病院、診療所の整備や救急医療体制の整備	32.3
子 ど も の た め の 施 策	28.9
大気汚染や騒音・振動などの公害防止対策	28.6
地域問題が解決できるような区役所機能の強化	28.2
小・中・高校の施設整備や教育内容の充実のための施策	27.1

●●● 市政に対する評価トップ10 ●●●

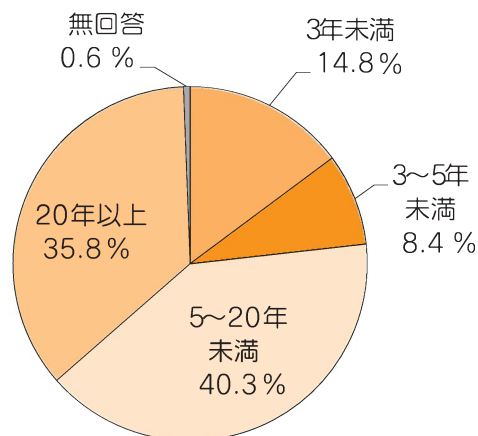
項 目	%
日 常 の ご み 収 集 や リ サ イ ク ル	47.0
水 道 水 の 安 定 供 給	33.2
バ ス な ど の 交 通 網 の 整 備	29.4
主 要 な 駅 周 辺 の 再 開 発	28.4
健 康 づ く り の た め の 施 策	27.1
自 転 車 対 策	26.8
文 化 的 な 催 し や 文 化 施 設 の 整 備	23.1
道路、公園、広場の美化・維持管理や自然・緑の保全	23.0
市や区の仕事などについての情報提供	22.4
下 水 道 の 整 備	19.4

●●● 市民の定住状況 ●●●

(1) 居住年数

(今のところにお住まいになって何年になりますか。)

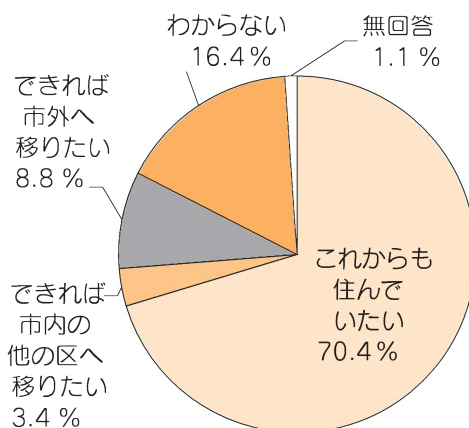
項 目	%
3 年 未 満	14.8
3 ～ 5 年 未 満	8.4
5 ～ 2 0 年 未 満	40.3
2 0 年 以 上	35.8
無 回 答	0.6



(2) 定住意向

(これからも今のところにお住まいになりたいですか。)

項 目	%
こ れ か ら も 住 ん で い た い	70.4
できれば市内の他の区へ移りたい	3.4
できれば市外へ移りたい	8.8
わ か ら な い	16.4
無 回 答	1.1



データチェック

平成30年度第2回かわさき市民アンケート結果をみると、市政に対する要望（今後特に力を入れてほしいこと）は「防犯対策」と回答した市民の割合が41.6%で最も高くなっています。市政に対する評価（よくやっていると思うこと）は、「日常のごみ収集やリサイクル」と回答した市民の割合が47.0%で最も高くなっています。

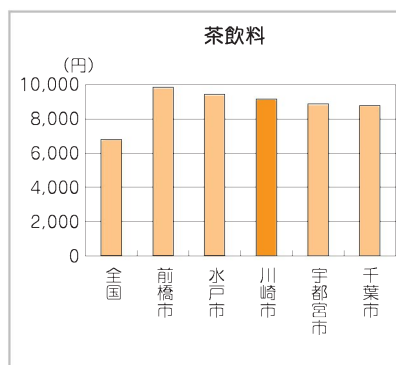
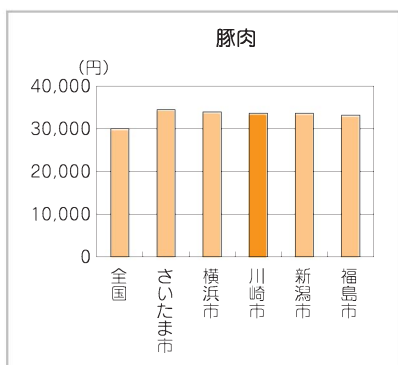
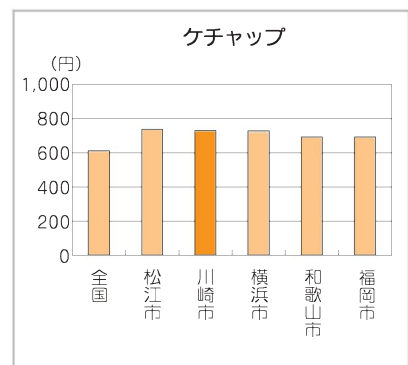
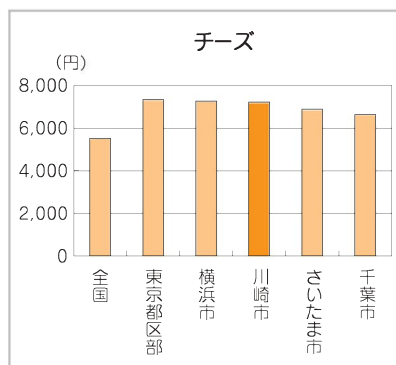
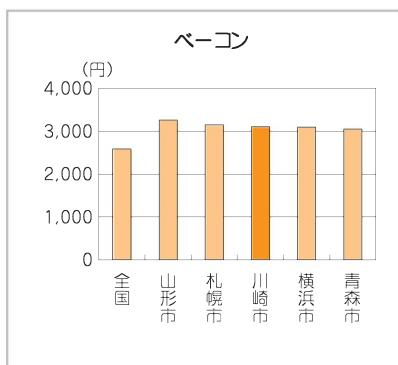
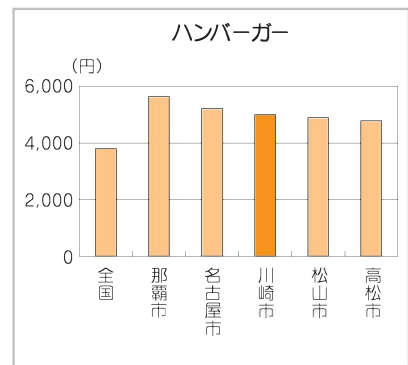
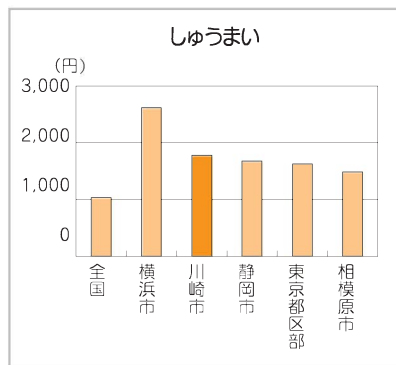
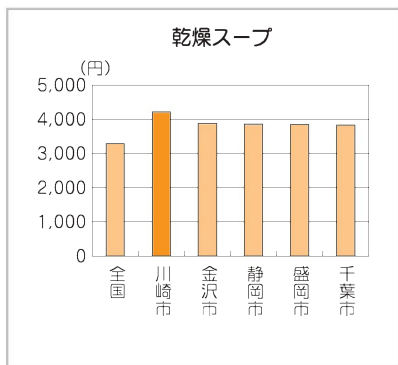
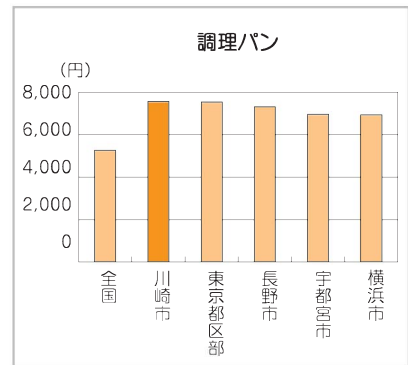
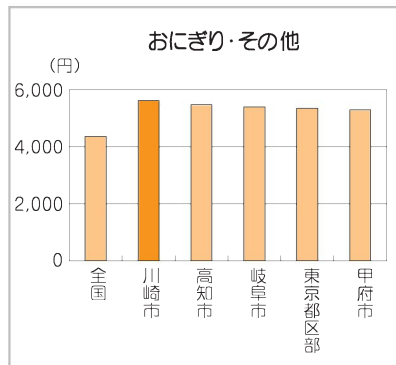
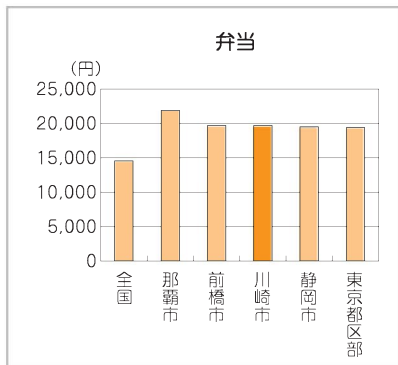
居住年数は「5～20年未満」の市民が40.3%、「20年以上」の市民が35.8%となっています。また、定住の意向では、「これからも住んでいたい」と回答した市民が70.4%となっています。



総務省「家計調査」では、世帯で何をどれだけ購入しているかを調査しています。地域ごとに結果を比較することで、好みやライフスタイルの違いが読み取れます。ここでは、2人以上世帯における品目別平均支出額（平成28年～30年調査結果の平均）をもとに、県庁所在地・政令指定都市・東京都区部でのランキングをつくり、川崎市に住んでいる2人以上世帯が特に多く購入（支出）している主な品目を掲載しています。

●便利な時短メニューで賢く生活？

働く人が多く、飲食料品のお店が充実している川崎市では、弁当や調理パンなどの支出金額が上位となっています。



東日本では豚肉が好まれる？

豚肉の6位～10位は、相模原市、浜松市、静岡市、東京都区部、金沢市となっており、東日本を北海道、東北、関東及び中部地方とした場合、上位10都市が全て東日本の都市となっています。

これに対して、鶏肉及び牛肉は上位10都市が全て西日本となっており、東日本では豚肉、西日本では鶏肉及び牛肉が好まれる傾向がありそうです。



川崎市は、全国と比べて平均年齢が若く、子どもの人口の割合が高いことから、子どもに関する支出も多くなっているはずで。そこで、子どもに関する支出と、大人も楽しめるスポーツなどの教養娯楽に関する支出をみてみましょう。

●子どもがいる世帯が多い？子どもに関する支出が上位

子供服、通学用かばん、幼児教育費用が第1位、保育費用が第2位となっており、子どもがいる世帯が多いことをうかがわせます。また、数多くのスポーツチームのホームタウンとなっている川崎市では、スポーツ観覧料なども上位となっています。

